A photograph of a forest with sunlight streaming through the trees, creating a dramatic, hazy atmosphere. The sun is low in the sky, and its rays are visible as bright beams cutting through the dark foliage. The ground is covered in grass and fallen leaves, and the overall scene is peaceful and serene.

社会福祉協議会、自治体関係者向け勉強会

事業実施上のポイント

全国の団体のヒアリングから見てきたこと

2020年7月 こども宅食応援団

全国の団体のヒアリングから見えてきた課題

以下の3つのプロセスに分けて課題を整理しています。



- 座組み
- 財源確保
- 対象世帯の設定

- (1) 告知・周知
- (2) 食品確保、配送
- (3) 関係性構築
- (4) 状況把握
- (5) 専門支援へのつなぎ

- 成果評価

座組み

どのような座組みで実施していくべきか？（独自「こども宅食」の場合）

	東京都文京区 (600世帯超)	長崎県長崎市 (約116世帯)	宮崎県三股町 (約50世帯)
事務局	こども宅食コンソーシアム (NPOや企業＋文京区)	一社ひとり親家庭福祉会ながさき 「つなぐBANK」事務局	三股町社協
食品確保	フローレンス(NPO)	同上	三股町社協
梱包・ 配送	ココネット(配送業者)	(指定場所に取りに来る型) ※梱包・手渡しはボランティア	ボランティア
支援	文京区 (子ども家庭支援センターなど)	県ひとり親家庭等自立促進センター、弁 護士事務所、県や市の貸付窓口、児童心 理施設、歯科医師会など	社協(就労・家計相談・障害・貸付)、 町福祉課、保健師、保育園・学校、食 堂・学習支援など

特に、支援部分については、自治体や社協など専門の支援機関との連携が必須。

財源確保

どのような財源で実施しているのか？（独自「こども宅食」の場合）

	東京都文京区 (600世帯超)	長崎県長崎市 (約116世帯)	宮崎県三股町 (約50世帯)
年間予算	4-5千万円/年 (含、データ収集・調査業務)	立上げ: 資金700万円＋ 運営資金: 80万円/年	立上げ資金: 50万円 運営資金: 20万円/年
財源	ふるさと納税	独立行政法人福祉医療機構の 助成金や寄付など	社福法人拠出金や寄付など
食品・ 日用品	食品企業等からの寄付 不足分は購入 (法人寄付担当あり)	食品企業等からの寄付が主	農家や農業生産法人からの 寄付が主
配送費や 場所代	ココネット(配送業者) 有償サービス	無償ボランティア 県の施設を利用	無償ボランティア 町の施設を利用

どのタイプでも継続的に運営するための財源が確保できていない。

財源のパタン	財源の特徴や課題
ふるさと納税型 【文京区事業】	<ul style="list-style-type: none">● 寄付者の自己負担が少ないというメリット● 大規模な金額を長期間集め続けるのが難しい● 広報スキルを持った専門人材が必要
相談事業拡張型 【長崎市や三股町の事業】	<ul style="list-style-type: none">● 事務局費などは既存事業でカバーできる● 対象世帯の大幅な増加など規模拡大や訪問を強化するなど、事業改善の財源は寄付などで集める必要がある
民間団体型 【新潟・佐賀市】	<ul style="list-style-type: none">● 主たる財源は寄付や助成金● 資金獲得の営業力により事業の規模・安定性が左右される
行政自営型	(参考)江戸川区おうち食堂 子供家庭支援区市町村包括補助事業 東京都子どもの貧困対策支援事業補助金 + 区の予算

他にどのような財源があるのか？

- 今回の「支援対象児童等見守り強化事業」
- 新型コロナウイルス感染症対応**地方創生臨時交付金**
(第2次提出2兆円、第3次提出3千億円)
- 自治体に**既にある子ども食堂補助**を「こども宅食」にも適用

ランチサポート再開 沖縄全県へ支援拡大 子どもたちや生活困窮者へ

2020年6月23日 15:11

おきなわこども未来ランチサポート 支援

BI 0 ツイート 共有する

琉球新報社（那覇市、坡名城泰山社長）とNexSeed沖縄校（北谷町、富田杏理校長）、日本郵便沖縄支社（那覇市、比嘉明男支社長）は22日、児童・生徒への昼食支援「おきなわこども未来ランチサポート」を再開した。子どもたちだけでなく生活困窮者への支援も含め継続的に取り組んでいく。日本郵便の物流ノウハウを活用し、これまで沖縄本島中南部に集中していた支援を北部や離島を含めた全県へ拡大する。

同日、3社の代表が参加して那覇市内で出発式を開き、支援物資の配布活動を再開した。日本郵便沖縄支社の比嘉支社長は「子どもの貧困課題解決に向けた一助となると、大いに期待している」とあいさつした。同支社は協賛企業が無償提供する食料の保管と配布を担う。

琉球新報社の徳安雄社長は「今回の再開は一過性の支援ではなく、継続的に取り組んでいく」とあいさつした。



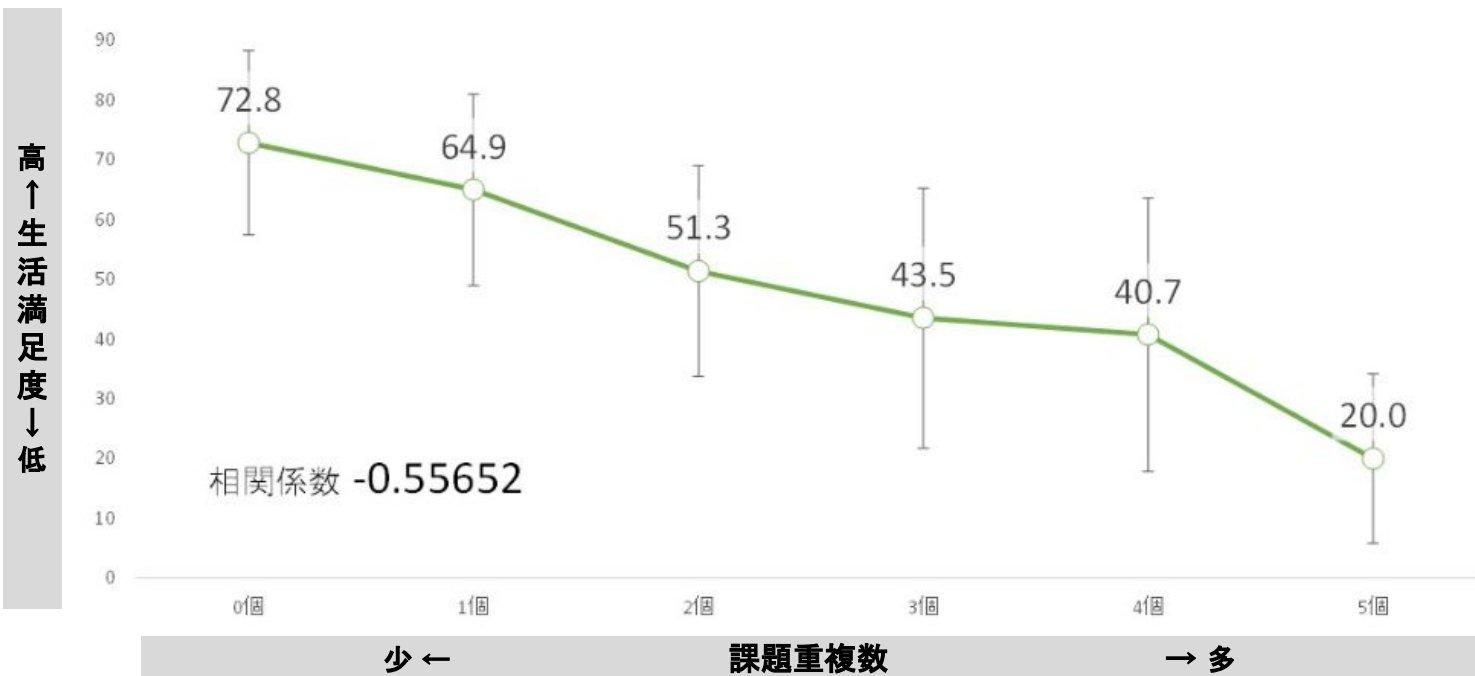
対象世帯の設定

対象世帯をどう設定するか？（独自「こども宅食」の場合）

東京都文京区	児童扶養手当、就学援助、生活保護のいずれかの受給世帯
宮崎県三股町	困りごとを抱えた家庭（※明確な条件は無い）
長崎県長崎市	児童扶養手当の受給世帯のうち、約110世帯（応募多数の抽選）

該当する課題の数が多いほど、生活満足度が低い傾向が見られた。
(文京区こども宅食の調査)

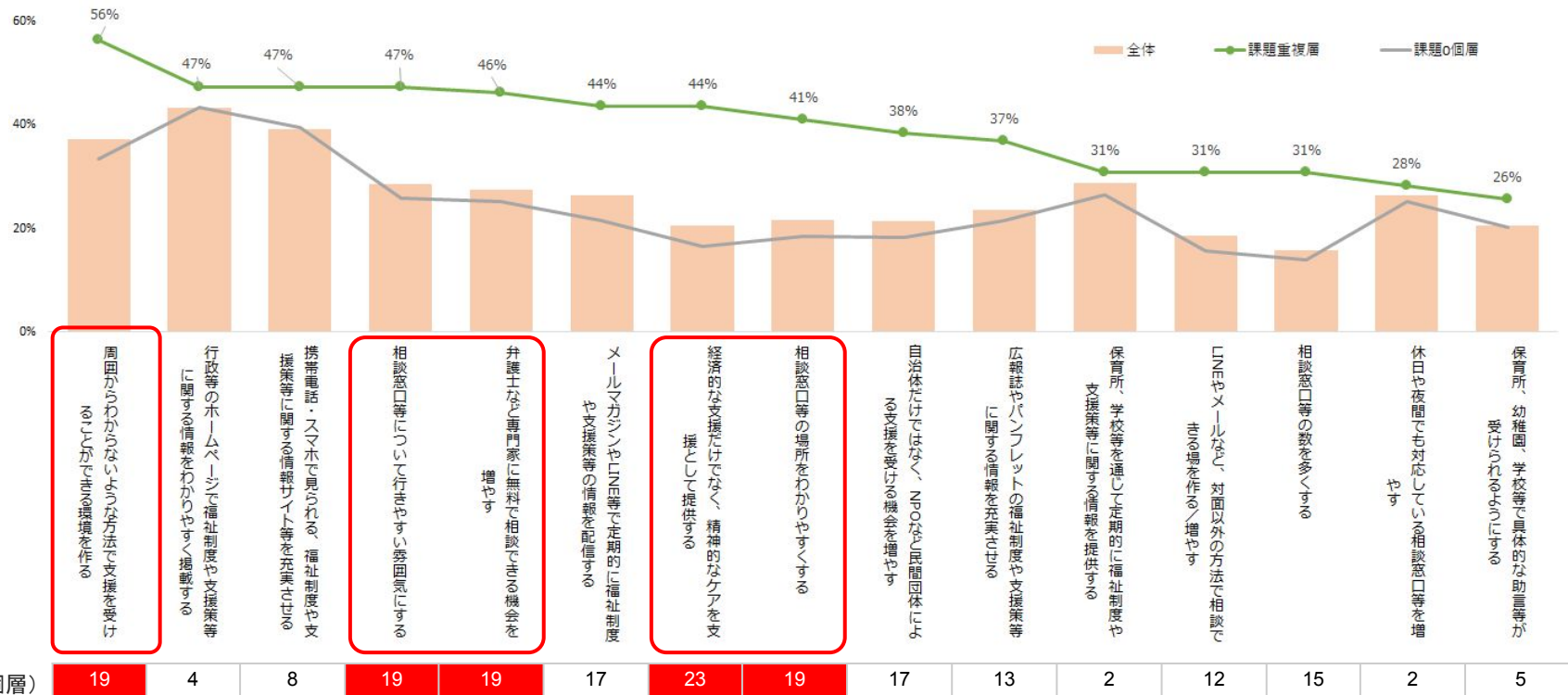
生活満足度と課題重複の関係



参考 データ

課題重複世帯は「周囲からわからないような方法で支援を受けること」のニーズがトップ。
「精神的なケア」および個別相談に関わる項目のスコアも課題個世帯より20ポイント程度高い。

Q: 必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことはなんですか。(それぞれ単回答 5段階評価)



(1)周知、告知

対象家庭にはどのようにアプローチすべきか？

①支援を受けているのを周囲に知られたくない

- ・窓口ではなく、LINE・メール・郵送など、人に知られずに申し込めるようにする

②「自分より困っている人がいる」と思うので、自分が対象だと思わない

- ・対象家庭に直接チラシやメール、声がけなどで案内を届けるようにする

③身体的に忙しい／精神的に余裕がない中で、申し込むこと自体のハードルが高い

- ・申し込み時に必要な情報を最小限にして、最初のハードルを下げる。
- ・申込みの受付時間に制限を設けない(24時間受け付けられるようにする)

④支援をうけること自体に抵抗がある

- ・「困窮している」「支援が必要」といった言葉を使わない。
- ・デザインを最大限活用して、気軽に申し込めるメッセージを届ける

相談員から見た「つなぐBANK」の意義

(相談員としてボランティア参加している児童心理治療施設へのヒアリング)

- 食品を受け取る”ついでに”相談もできるというのは、
ハードルがぐんと下がって気軽さが増すのは素晴らしい
- 中には周りの目を気にして中々相談窓口に行けない中、**食品をもらうという見え方で、相談ができる**というのもお母さんたちにとってメリットが大きい(中には、本人は相談したくても親や兄妹に「相談に
なんか行くな」と言われるケースもある。対外的理由ができる。)
- 託児があるので、相談しようと思っていなかったお母さんにも、「お子さんが遊んでいるので、ゆっくり
話せますよ！どうですか？」と相談窓口に促すことができる。「大丈夫ですか？困りごとはないです
か？」と聞くより、構えなくていい。
意識的に援助要請がなくとも、潜在的な困りごとを聞く機会になれる
- 来たときは緊張した顔だが、帰る時には、晴れやかな笑顔で帰っていく人が多い。多くのスタッフが
いるので、「**誰かが支えてくれる**」という実感を持つことができる

利用意向の低い人は①周囲に知られたくない、②自分より困っている人がいる、③自分が対象世帯かどうかよくわからないこと等が理由として多い

利用したいが人に知られたくないので気が引けるため

収入が少なく、周りに支援を受けているのを知られるのが、やはり恥ずかしい 思いがあり、申し込むのをためらっていました。運営団体に知り合いがいないかなど気になります ので申し込みにくいです。

ひとり親家庭ですが、両親と同居している為、うちよりも生活が困難な方もいる と思うから

前回申し込みたいと思っていたら、一緒に住んでから無理なんじゃないのと母親から言われ渋々やめました。
孫に対して何も買ってくれないし全く母親の援助はないのに。

相談・支援事業につなげるために「相談窓口にとどり着いていない世帯」を想定して子育て家庭へのアプローチ方法を考える。

夜間や週末にしか
空き時間が取れない人



漢字の読み書きが苦手

手続のための書類を
集められない人

手続ややりとりが面倒で、
福祉サービスの利用を
諦めたことがある

あてはまる
とてもあてはまる

47%

※京都市子ども宅食利用世帯73世帯の回答

そもそも支援や
窓口を知らない人

行政に苦手意識や
拒否感がある人



現況届送付封筒に申込みチラシを同封することで、
対象世帯である児童扶養手当及び就学援助受給世帯にアプローチしている。

対象世帯が、自らが対象世帯であることが明確にわかり、
周囲に知られずに、LINEで簡単に申し込めるため、利用しやすい。





希望されるご家庭に、
食品をお届けします。

2. 事業の内容

お米、缶詰、レトルト食品、お菓子、飲料などの食品を、対象の希望されるご家庭に無料でお届けします。また、地域で実施されている子ども食育や学食費などの子育て支援の情報も一緒にお届けします。

2. 食品の配送方法・配送予定日

配送方法：宅配便スタッフが手渡し
配送予定日：第2回 3月下旬頃

3. 実施団体

主 体：社会福祉法人 あだち福祉会
主 力：京都府



2020

新様の方のお申し込み方法

■ 郵送申し込みはできない方は、こちらに申し込みいただく必要はありません。このサービスが手厚い方々に、メールでLINEまでご連絡ください。

申込締切日 令和2年2月21日（金）午後5時必着！！

下記のQRコードをスマートフォンで読み取り、LINEから登録ができます。

① QRコードからLINEのあだち福祉会（公式アカウント）にいる、友達検索をします。

② 登録後、トーク画面にあだちと登録し、おなじのログインパスワードが送られます。

③ LINE をクリックパスワードを入力後、ログインを完了してください。

※ 必要事項登録して送信していただきますと、登録が完了します。



① LINE
友達検索

② あだちと友達検索
あだちのパスワード

③ ログイン
パスワード入力

④ パスワード
入力完了

登録

QRコードの読み取りができない場合や、スマートフォンを不使用でのご使用の場合は、
（箱）あだち福祉会（以下、お問い合わせ先）までお問い合わせください。

※ 申込日等の詳細については、お申込みいただいた後、メールにてご連絡しますので、メールアドレスを必ずご記入ください。
（使用できない場合はご連絡ください）

その他 ● 本事業にご参加いただきますと個人情報、本事業の用にわたります。
● 申込、本事業開始後にアカウントが凍結される。個人利用でのみご使用ください。ご活用をお願いします。

【京都こそ食育プロジェクトお問い合わせ先】
（福）あだち福祉会
e-mail: goshoonamori31@icloud.com
TEL: 075-257-1151 FAX: 075-257-3501
〒604-0956 京都市中京区堀町二条地下等持寺町15番地
※お問い合わせはできるだけメールでお願ひします。

※本事業の内容については、学校でお話をお聞きいただけますができません。
ご不明な点等はお問合せ先に連絡くださいますようお願いいたします。

いろいろな窓口で気づいた「気になる家庭」に申し込みを促すことで、
見落とされる家庭を減らすとともに、**個人情報問題もクリア**できる。



氏名、住所、メールアドレス、電話番号を入力するだけ、**手間・負担が少ない**。
LINEを使えば、**周囲に知られずに、時間外でも申し込める**ため利用しやすい。

・ みまたん宅食どうぞ便のしくみ ・



1. 寄付や食品が集まる

町民や企業から集まった地元の食材をストックしています。



2. スマホから申込み

窓口に来ていただいたり書類を書くなどの必要はありません。スマホ、パソコンからお申し込みできます。

※申込後、コーディネーターから簡単な聞き取りがございます。



3. お届け

毎月（指定日）ご自宅までボランティアがお届けします。



4. つながる

子育ては一筋縄ではいかないもの。子育て経験のあるボランティアが相談を受けます。一緒に子育てしましょう。



LINE@
みまたん宅食どうぞ便

右のQRコードを読み取るか、ID検索をして友だち登録してください。
スマートフォンでご覧の方は「友だち追加」をクリックしてください。
毎月の活動の配償のほか、ご質問等も受け付けております(^^)

ID @ejr1274q

LINE 友だち追加



ご利用のお申込み

以下のフォームにご入力いただき送ってください。
担当よりご入力メールアドレス宛にご利用についてご連絡させていただきます。

お名前※

三股 どうぞ

フリガナ※

ミマタ どうぞ

ご住所※

三股町磯山3064番地5

電話番号※

090-1234-5678

メールアドレス※

contact@mimata-douzo.com

お申込み理由※

生活が大事と感じる理由はなんですか。

送信内容確認

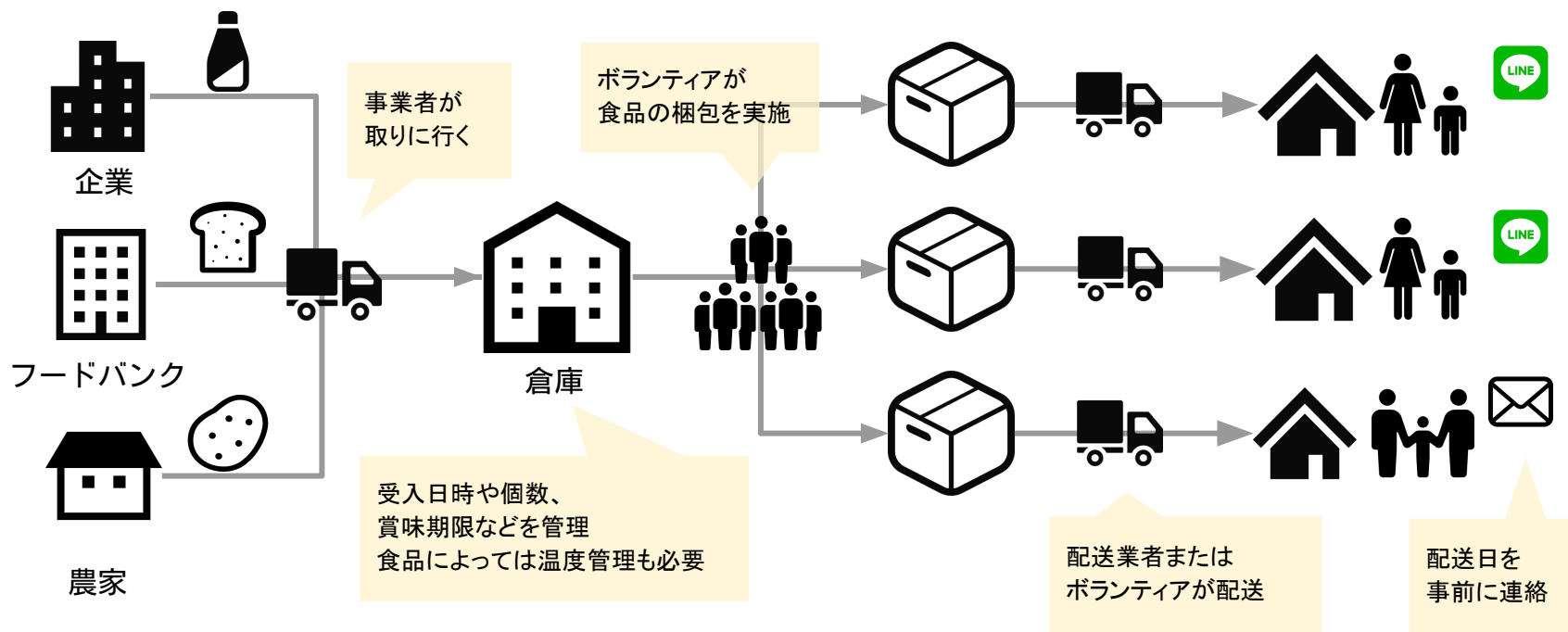
(2) 食品確保、配送

食品を確保してから配送するまで、具体的にどのようにやっているのか？

- 地域によって規模や座組み、プレイヤーが異なるため、様々なやり方があります。
- 食品は原則、寄付で集めています。
- 利用家庭へのアプローチについては、**配送型と集合型**の2つがあります。
集合型については見えない支援を希望する家庭に配慮した上で実施しています。
- 配送型については、**配送業者が届ける、ボランティアが届ける**の2つがあります。

【共通】農家や企業、フードバンクから寄付で頂いた食品を倉庫に保管。

配送前に梱包して個別に配送するのが基本の流れ。

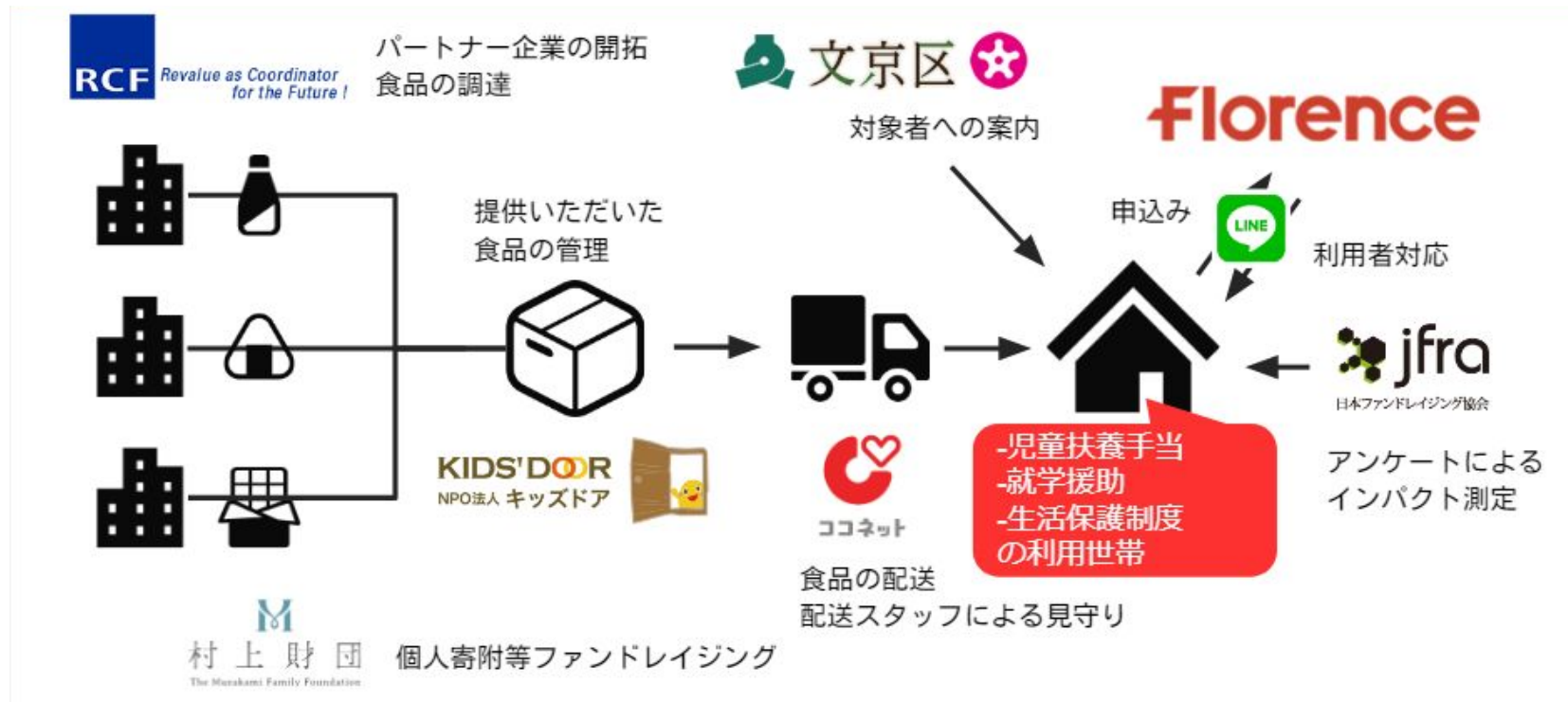


大規模

東京都文京区

約630世帯×8回＝のべ約5,000世帯

配送型



中規模

長崎県長崎市

約100世帯×6回＝のべ約600世帯

集合型

農家や企業から
米や食品を寄付してもらう



企業



農家など
個人



会員制の「宅所」



食品や学用品、
生活用品の配布



医療や法律など
専門的な相談

利用家庭には
LINEで日時と
場所を伝える



利用家庭

所定の日に
食品などを
取りに行く

※長崎では市中で坂が多いため、宅配型ではなく、あえて「周りに知られない場所(宅所)に取りに行く」集合型とした。

小規模

宮崎県三股町

約40世帯× 12回 = のべ約500世帯

配送型

事務局メンバーが宅配日の
前日・当日に、寄付食品の集
荷に回り、作業所へ

ボランティアが配送。



配送日当日、町の作業場に
ボランティアが20名ほど
集まり、梱包作業

ご家庭に直接お届け。





学習用品



農産物とレシピ



加工食品や調味料



日用品

全国各地

最近ではマスクなどの衛生品を渡す事業も。

「不用品を渡す」と思われないよう**家庭のニーズに配慮**。
これは**家庭との関係構築の観点からも重要**(後述)。



Q9 物品ニーズ

お米やパンなどの主食、肉や野菜などの生鮮食品のニーズが高い。また、感染予防のためのマスクやアルコールのニーズについては、食品と同等にニーズが高い。

食品や日用品として、今どのようなものがあると思いますか？あてはまるものをお選びください。(%)



(3) 関係性構築

具体的にどのように関係性構築をしていくのか？

- **配送に関しては、主に以下のような施策を実施している。**
 - ・できるだけ対面で渡せるように、配送日の事前連絡をしている
 - ・対面でお会いしたときに、声がけをする
 - ・LINEやメールで、定期／不定期に様々な情報を共有する
 - ・食品だけでなく、イベントへの招待など機会提供も実施している
- **居場所でお会いする場合には、以下のような施策を実施している。**
 - ・託児をするなどして、場所に来た人が相談する機会を自然につくる
 - ・多くの人がいることで来た人に安心感を与える

LINEで積極的な情報発信を行っている。絵文字を活用する、事務的な文体を避けるなど、コミュニケーション上の工夫もしている。

お届け内容の紹介



【🍎 こども宅食4月便のお届け内容の紹介 🍎】

こんにちは！こども宅食事務局です



先日お送りしました「コロナ情報お役立ちまとめサイト」はご覧いただけましたでしょうか？もし見逃してしまった！という方は、以下のリンクからパスワードを入力してご覧くださいませ！

💡 リンク：<https://kodomo-takushoku.jp/members-covid19>

💡 パスワード：takushoku

さて、こども宅食4月便のお届け内

LINE導入自治体は、
長崎市、京都市、新潟市、
三股町など多数！

- ・お菓子
 - ・ジュース
 - ・フルーツ缶
 - ・シャンプー/トリートメント/コンディショナー
 - ・化粧品 等
- =====

イベントなどの機会提供



【🌟 1泊2日のグランピング特別招待券を抽選でプレゼント 🌟】

こんにちは！こども宅食事務局です。
このたび、一般社団法人村上財団様からこども宅食ご利用家庭のみなさまに、1泊2日のグランピング(アメニティ付きのキャンプ)体験の特別招待券をご寄付いただきました！

場所は千葉県にある「農園リゾート THE FARM」。

抽選で【10世帯】をご招待します！



参加をご希望される方は以下のフォームからご応募ください💌

▼特別招待券の概要

名前：グランピング1泊2日(夕朝食つき)体験

有効期限：2020年4月1日～11月30日

- ▼特別招待券に含まれているもの
- ・東京駅からキャンプ場までの往復バスチケット
 - ・夕食(レギュラーBBQセット)

コロナ禍での情報提供



【🌸 外出自粛中の方へ、お役立ち情報のご案内 🌸】

こんにちは。こども宅食事務局です。

新型コロナウイルスによる休校・外出自粛に伴い、お子さまがご自宅で無料で使うことのできるサービスがたくさん出ています。しかし、様々な情報が錯綜しており、使えるサービスを探すのも一苦労なのではないかと思います😓🙏

今回は、こども宅食ご利用家庭のみなさまのお力になればと思い、お役立ち情報をまとめてみました😊



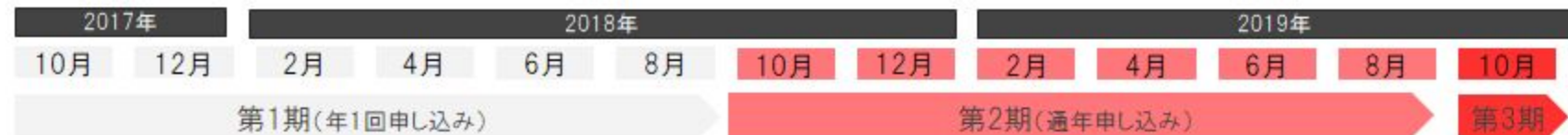
就学援助受給世帯向けにパソコンとWi-Fi機器の無償貸与とサービスなどもあるようです💡

以下のリンクからパスワードを入力してご覧いただけます！

💡 リンク：<https://kodomo-takushoku.jp/members-covid19>

💡 パスワード：takushoku

食品以外の物品や機会の提供もしている。



対象世帯数



三股町では、初回配送時に面談を実施。

ボランティアは担当制で**同じメンバーが家庭を訪問**するようにしている。

利用開始前に社協にて面談



「利用申し込みがあると最初にご家庭を訪問し、顔を合わせて話すようにしています。申し込みをしたということは、現状を変えようと一歩踏み出した証拠で、それがとても良かったということも最初にご家庭と共有するようにしています。」

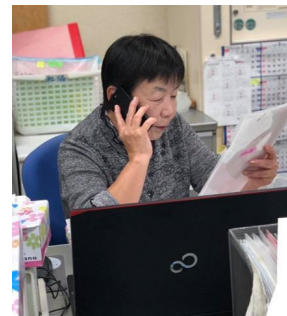
月1回の配送をボランティアが実施（担当制）



「食品は自然に渡すようにしている。ご近所など周りの目もあるかもしれないので、自家用車でいく。目立たないように気をつけている」

配送時には明るく挨拶し、声を掛けるにしても「困っていることがあれば三股町社協に相談してください」といったコミュニケーション

個別の声かけ



LINEや電話でつながっているので定期的に『変わりはないですか？』などと連絡するようにします。緩やかに寄り添っていることを感じてもらえれば

来場と食品受取り:

- 様々なスタッフ・ボランティアが温かい雰囲気です掛けをする
- 託児スペースやイベントなど、普段は忙しい親がリラックスできる工夫を

※コロナ感染対策のため現在は託児スペースなどは停止中。

✓大勢のボランティア
が休日に準備・運営し
ている様子が見える



✓クリスマスにはレゴやケーキを、
コロナが流行する時期はマスク…
家庭のニーズを考えて企画



✓相談がしやすい
ように会場に託児
スペースを設ける



(4) 状況把握

家庭の状況はどのように把握しているのか？どう対応しているのか？

東京都文京区	<ul style="list-style-type: none">・年に1回、実態把握のためのアンケートを実施している アンケート結果を分析して、家庭の生活課題の重さを把握している。・配送業者が配送時の声がけしたときの様子や、玄関周り・家の中の様子を踏まえ、気になる家庭については特に「見守り家庭」と設定し、できるだけ接点を作るような対応を取っている（手渡し、LINEなど）
宮崎県三股町	<ul style="list-style-type: none">・ご家庭から申し込みがあったあとに、相談員がご自宅に直接伺い、話をしながらご家庭の状況をヒアリングをする・配送ボランティアの方から 配送時のご家庭の様子をヒアリング する・相談ごとや課題のあるご家庭には声がけをしていく

把握した課題や情報をもとに、**情報提供や利用家庭との関わりを改善**していくことができます。

県のひとり親家庭等自立促進センターによる個別の相談支援も実施 コロナ状況下で正社員からパートになってくれと言われた お母さんからの就労についての相談を受けていた様子(食品手渡し後)



- プライバシーに配慮したブース作り
- 専門家が揃う安心感。

相談ブース



※コロナ前の相談ブースがあったときの宅所の様子

(5) 専門支援へのつながり

課題を把握したあとに、どのような形で専門支援につないでいるか？

東京都 文京区	相談機能 なし	課題重複家庭や見守り世帯の情報を、 区の子ども家庭支援センターに提供している（現状は一方通行）。
宮城県 三股町	相談機能 あり	見守りで問題のあるケースを見つけた場合、 市町村の役所や社会福祉協議会で検討会議を実施し、専門支援につなげる。
長崎県 長崎市	相談機能 あり	実施団体が別団体として運営している相談機関につなぐ。 （手渡し場所での相談時に個人情報の提供についての同意を取得しておく）

「こども宅食」の見守りで問題のあるケースを見つけた場合、
市町村の役所や社会福祉協議会で検討会議を実施し、専門支援につなげる。

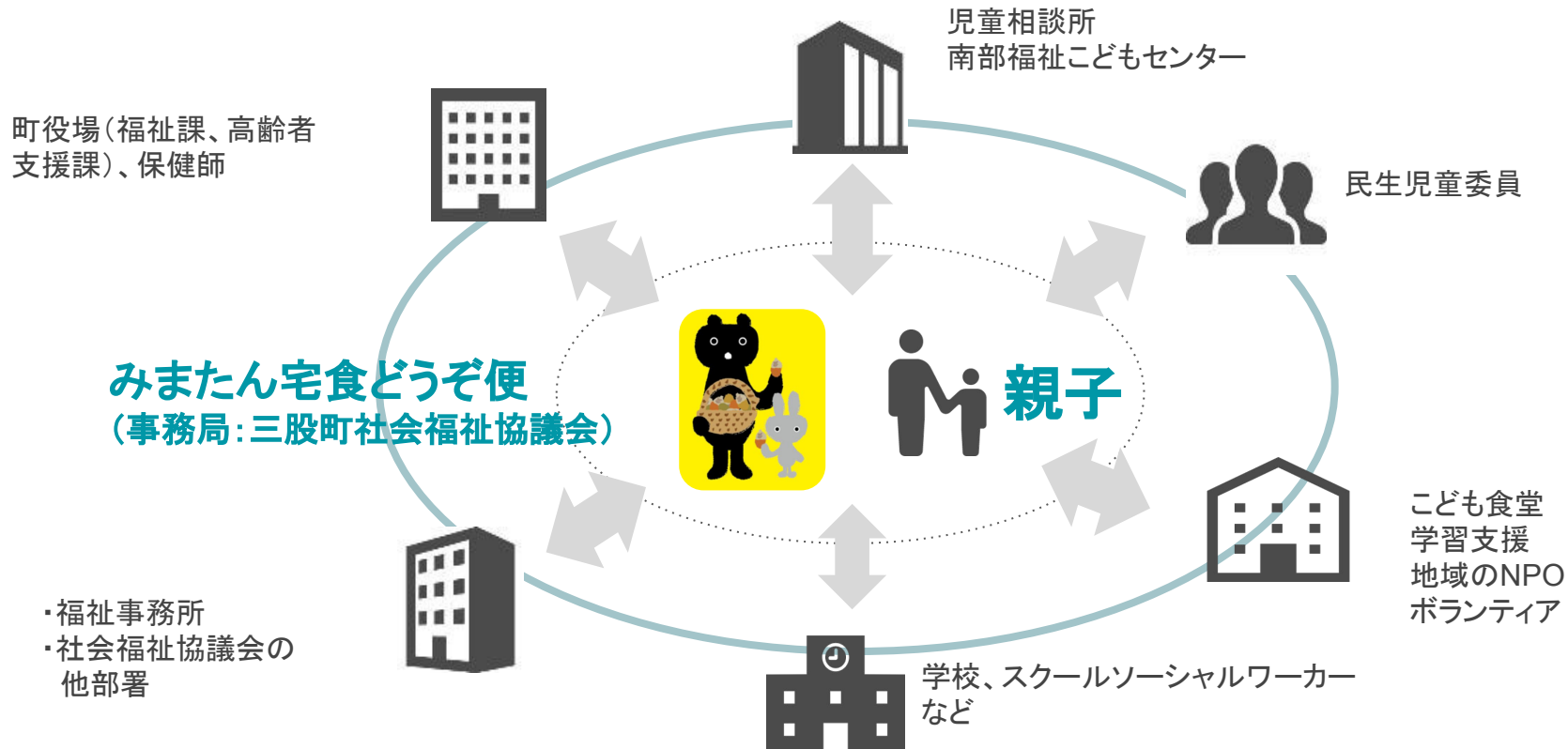
役所

- ①福祉課
社会福祉係
児童福祉係
- ②高齢者支援課
包括支援センター
- ③町民保健課
健康管理センター

社会福祉協議会

- ①地域福祉係
- ②障害基幹センター
- ③生活支援コーディネーター
- ④コミュニティデザイナー
- ⑤どうぞ便コーディネーター

こども宅食が家庭との「つながり」を作り・維持しながら、 地域の支援団体がネットワークを作るイメージ



長崎事業の初回実績: 3割が初回の事業で相談を

(約100世帯参加中)

2019年12月22日宅所 相談実績

相談 内訳	件数
心の悩み	9
歯	7
弁護士	3
貸付・国	4
貸付・長崎市	5
就労	1
その他	1
合計	30

相談ブースにボランティア参加している団体：

- **長崎県ひとり親家庭等自立促進センター**（社会福祉士、精神保健福祉士）
- **県や市の貸付窓口担当**
- **歯科医師会**
- **弁護士事務所**
- **児童心理施設**（臨床心理士、看護師など）
- **ひとり親に向けた住宅相談窓口 など**

宮崎県
三股町

長崎県
長崎市

「民間事業」といえども、 “相談・支援やそのつながりの体制がある”という信頼感は重要

・ みまたん宅食どうぞ便とは ・



「生活が大変・・・」と感じる家庭に対して
定期的に無料で食材（世帯の10食分）をお届けします。
三股町にお住いの18歳以下のお子様のいる
ご家庭であればご利用になれます。
どうぞご利用ください。

この事業は、三股町内の社会福祉法人、ボランティア、
社会福祉協議会等が連携しておこなっています。
（事務局：三股町社会福祉協議会）

フードバンクシステムによる、ひとり親家庭への 「宅（食）所」「健康」「相談」の総合支援事業



この事業は、企業や個人の寄付によって行われます。子ども食堂へ行く事の出来ない、ひとり親家庭（児童扶養手当受給者）を対象に、2ヶ月に1回程度、指定場所にてお米等をお渡しします。また、その時に専門家による健康チェック及び相談や、就職・学資資金・貸付・弁護士相談等を行います。無料の学習支援も行います。

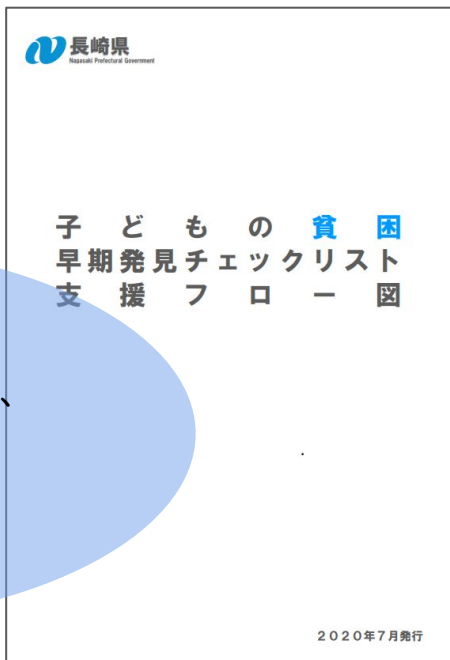
協力 団体

長崎県・長崎市・長崎県青少年育成県民会議・生活協同組合ララコープ・社会福祉法人 カメリア・
一般社団法人 長崎市歯科医師会・特定非営利活動法人 Fineネットワークながさき・一般財団法人 未来基金ながさき・
弁護士法人 ALAW&GOODLOOP・池内愛法律事務所・一般社団法人 こども宅食応援団・認定NPO法人 フローレンス・
子ども食堂ながさき
（順不同）

貧困や虐待の早期発見などに関するリーフレット

- 「支援が必要なケースを判断できる基準や、具体的な対応方法や連携方法が分かる支援フロー図 が欲しい」という地域の支援者の声を受け長崎県が作成。
- 学校・保育園や、民生委員、親子支援のボランティアなどが、子どもや保護者の普段の様子から「困ったサイン」に早期に気づき、支援につなげることを目指す。
- 子どもの貧困対策統括コーディネーターが、この冊子を基に関係機関に対し研修を行う。

長崎大学・長崎大学大学院、
筑紫女学園大学の准教授らや、
長崎県子どもの貧困対策統括
コーディネーターが監修し、
長崎県が作成



目次	
・ はじめに	1 ページ
・ そもそも貧困とは？	1 ページ
・ 子どもの貧困とは？	2 ページ
・ 長崎県の子どもの状況は？	4 ページ
・ 長崎県の子どもの貧困対策とは？	4 ページ
・ 参考文献	5 ページ
・ 監修（長崎県子ども調査アドバイザー会議委員等）	5 ページ
・ 子どもの貧困早期発見チェックリスト（判断基準）	6 ページ
・ 子どもの虐待に気づくための主なポイント	10 ページ
・ 支援フロー図	11 ページ
・ 関係機関の連絡先	12 ページ

貧困や虐待の早期発見などに関するリーフレット(中身(一部))

子どもの貧困早期発見チェックリスト(判断基準)

☒ 子どもの貧困にかかわる主な傾向を意識するためのチェックリストで、**あくまで目安**です。

☒ 見落としやすい、経済的理由によって生活上の困難を抱える子どもに**気づく目安**にしてください。

☒ 気になる子どもがいた場合には、職場内で共有し、**支援につなぐきっかけ**にしてください。

●子どもの様子

		主な傾向	想定される家庭の状況
身 体 ・ 健 康	1	<input type="checkbox"/> 乳幼児の場合、下痢気味であったり、便の中に不消化物が多い。また、咀嚼せずに飲み込むように食べる。	離乳期・幼児期の発達に応じた食事内容や回数で用意できず、大人と同じものを食べているため、消化できていないのかもしれない。
	2	<input type="checkbox"/> 特別な病気がないのに、身長や体重の増えが悪い。	食費を切り詰めなければならない状況であったり、家庭のなかで、十分な食事が取れていない(栄養状態が悪い)のかもしれない。
	3	<input type="checkbox"/> 長期休暇(夏休みなど)明けに体重の変動が多い。	
	4	<input type="checkbox"/> 特別な病気がないのに、顔色が良くない。 (口朝食を食べていない □夕食を食べていない □水分不足 等)	
	5	<input type="checkbox"/> 風邪やケガで医療機関の受診が必要だと思われるが受診していない。	
	6	<input type="checkbox"/> 虫歯があり、促しても治療につながらない。	診察代を工面することができなかったり、医療費の補助制度を知らないのかもしれない。
	7	<input type="checkbox"/> 皮膚疾患があるが、通院・治療につながりにくい。 (口あせも □虫刺され □アトピー □水いぼ □とびひ 等)	
	8	<input type="checkbox"/> 散髪に行っていない。	散髪代を工面することができない、または保護者が子どもの状態に無関心なのかもしれません。
	9	<input type="checkbox"/> 季節外れの服や、いつも同じ服を着ている。	必要な服や靴を購入することができない。

支援フロー図

支援の流れ

貧困状態の子どものたちを確実に支援につなぐためのフロー図です。

1.チェックリストを意識

日頃から子どもに関わる全ての支援者の皆様が、貧困が子どもに与える影響や「子どもの貧困早期発見チェックリスト」の主な傾向を意識することから始めましょう。

2.気になる子どもを発見

「子どもの貧困早期発見チェックリスト」を意識しながら子どもや保護者と接することで、チェックリストに当てはまる「気になる子ども」の気づきにつなげましょう。

3.気になる子どもの様子を観察

「気になる子ども」を発見したら、しばらく様子を観察しましょう。気になる様子や状況が複数該当するか、そして、その状況が継続するかどうかを観察しましょう。

※観察する期間は、状況によって異なりますが、約1〜2週間を目安に、気になる様子が改善が見られなかったり、悪化するような状況があれば、次のステップ「4. 職場内で情報共有」に進みましょう。

4.職場内で情報共有

様子や状況が複数該当し、その状況が継続する場合には、同じクラスの担当職員間、兄弟がいる場合はそのクラス担当職員など複数の職員で情報共有しましょう。また、リーダー的職員や主幹教諭、主任保育士、施設長、スクールソーシャルワーカーなどと共有しましょう。

5.職場内で対応策の検討

子どもの貧困は、必要な物品や食品の不足にとどまらず、人とのつながりの不足や経験の不足によって、子どもたちの自尊心や自己肯定感を低下させ、健全な成長を妨げてしまいます。

貧困の連鎖を防ぐためには、日頃の子ども様子を把握している支援者のみなさまが、子どもの貧困という状態が子どもたちに与える影響について、理解を深め、意識していただくことがとても大切です。

さまざまなことが不足している子どもたちにとって、親以外の大人であるみなさまとの関わりは、貴重な経験になります。

子どもたちが発しているサインを見逃さぬように、多くの大人が関わりながら、子どもたちを見守っていきましょう。

対応②(子どもの貧困が疑われる場合)

●職場内での対応策(一例)

- ・衣服や学用品の貸与(在庫がある場合)
- ・給食を多めにするなど配慮
- ・日常的に声をかけ信頼関係を構築
(必要に応じて保護者と電話で話したり、面談を行う)
- ・専門相談窓口や支援制度の情報提供
- ・地域の民間団体の情報提供
- ・家庭訪問等アウトリーチによる支援
→ 子どもの様子、保護者の様子、同居家族の様子、家の中の様子、育児で困っていること・心配なことなど、相談支援の希望などを聞き取り必要な支援につなぐ

●他機関との連携した対応策

- ・チェックリストに該当して貧困で困っている様子だが、保護者は支援に後ろ向きで、どう手を差し伸べてよいかわからない様子

三股町ではボランティア研修なども

相対的貧困家庭の生活を家計から考えるワーク

ワークシート

◆ 37歳の夫婦と中学1年生の子ども1人の核家族 ◆

「一ヶ月にかかる生活費（税金・社会保障料除く）を考えよう」

	一般家庭①	一般家庭②	相対的貧困家庭	困難ケース
住居				
光熱費				
食費				
衣類（@4U）				
教育・進学貯金				
娯楽・交際費				
通信				
交通（車）				
医療・生命保険				
貯金・その他				
合計	¥340,000			

- ・住居費は賃貸と仮定して算出／家電や家具、消耗品は年間総額を考えて12で割った数を住居費へ
- ・食費の中には家族でいく外食も含む
- ・衣類は日常的なもの以外にもスーツや外出用のものバッグやアクセサリも含みます
- ・教育進学貯金は習い事や塾、教材や学校諸費、部活にかかる経費、学費保険も含む
- ・娯楽交際費として、家族旅行や娯楽などの費用も年間総額を考えて12で割った数を含む
- ・交通で車を所持していると仮定した場合はローンの支払い、車検や保険なども月単位で計算

一般家庭①

相対的貧困家庭

困難ケース



成果評価

事業の評価はどのように行っているのか？

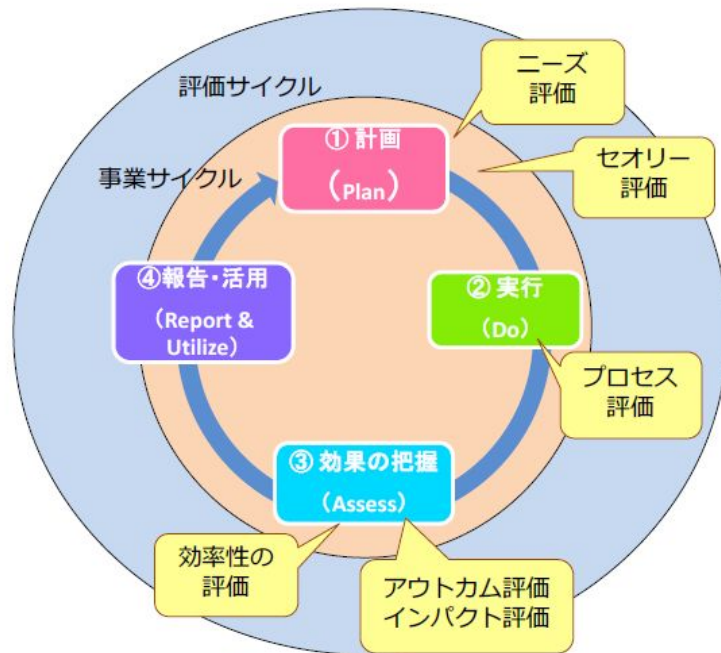
こども宅食の活動がどのような効果や価値を生んでいるかを評価し、事業改善に活かすため、文京区こども宅食コンソーシアムでは、以下の2つの目的を持って、「社会的インパクト・マネジメント」を行なっています。

- ①社会的インパクト評価により、事業が生み出す社会的価値を可視化し、検証すること
- ②社会的インパクト・マネジメントを通して、こども宅食事業の運営改善をすること

インパクト・レポートでは、ロジックモデル(事業や組織が最終的に目指す変化・効果の実現に向けた事業の設計図)を用いた事業実施によるプロセス管理と、ロジックモデル上に設定した成果の検証について、利用者の方を対象に実施したアンケート等の分析結果をもとに実施しています。

事業の目的は果たせたか、活動の良かった点／改善点は何か、などを以下の視点で検証している。

【インパクト・マネジメント・サイクル】



① 計画
ニーズ評価
セオリー評価

事業運営上必要な情報の収集、リサーチを行い、課題の特定と事業目的を設定。ロジックモデルを用いて事業目的を達成する上で重要となる目標、成果を設定し、事業計画および評価計画を策定する。

② 実行
プロセス評価

事業の実施と並行して、計画通りのアウトプットが生み出されているかのプロセス管理と評価指標によるモニタリングを実施する。

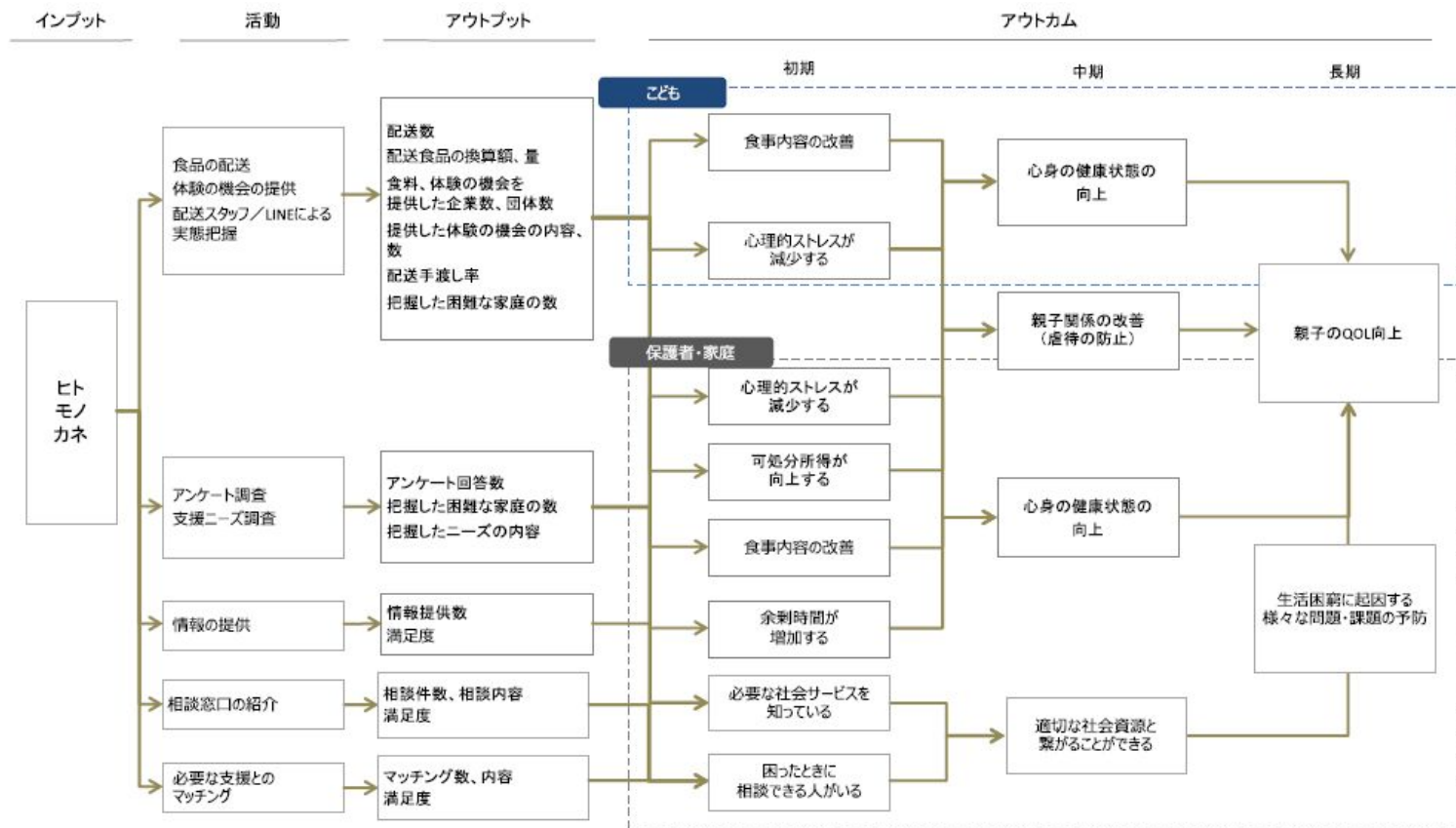
③ 効果の把握
アウトカム評価
インパクト評価

アンケートや配送時に収集したデータの検証・分析を行い、事業実施により実際に生じた変化、成果を確認する。

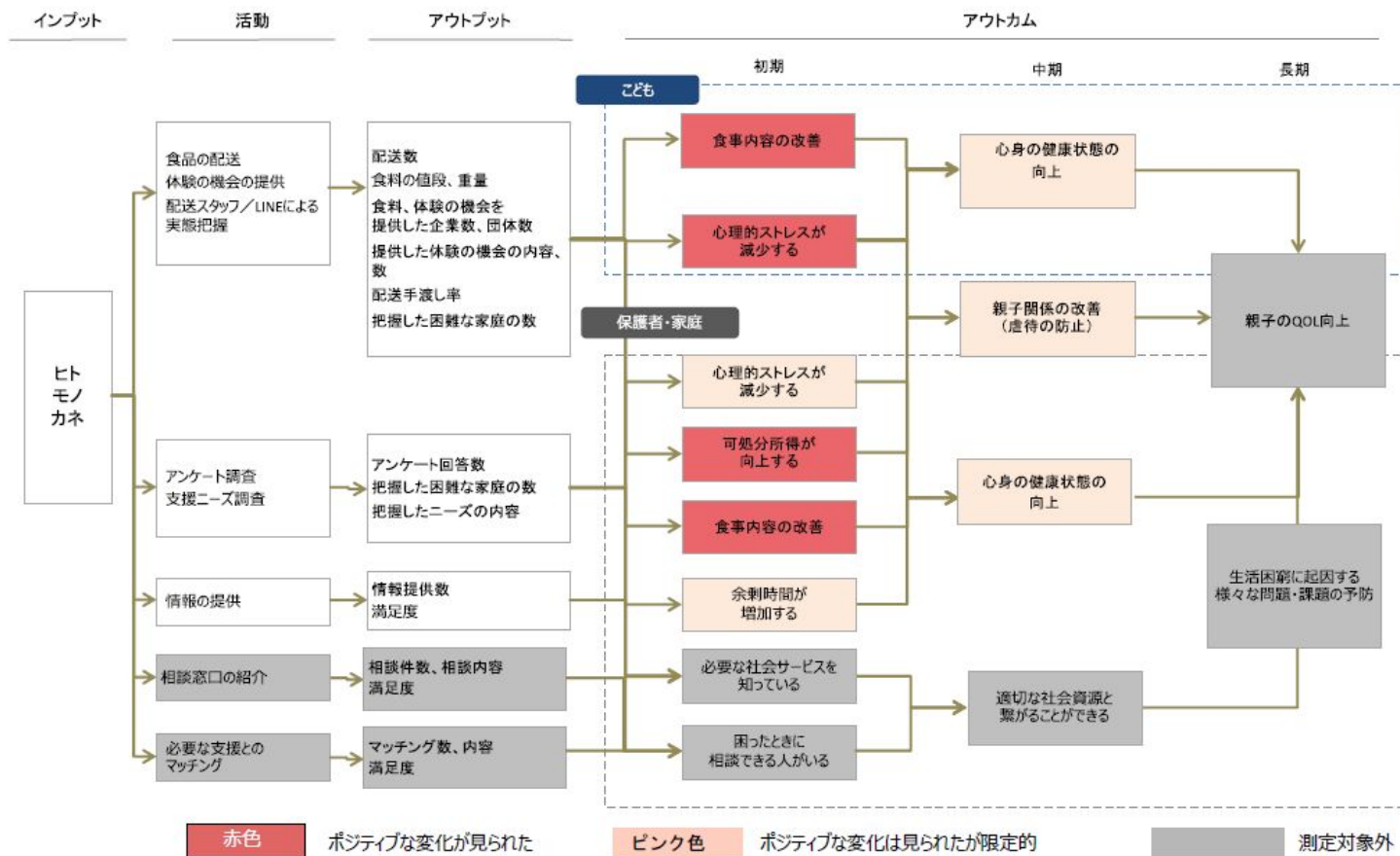
④ 報告・活用

分析結果をもとに評価報告書（インパクト・レポート）を作成。今後の事業展開に反映すべき点を関係者間で共有し、より価値を生み出す事業改善のための意思決定に活かす。取り組みの輪を広げていくために、得られた知見を内外に紹介し、今後の評価計画について検討する。

複数の団体と連携している、事業の活動が複雑、ということで、関係者の目線を合わせ、ブレずに活動が続けていくために、ロジックモデルを作成。その検証も行っている。



複数の団体と連携している、事業の活動が複雑、ということで、関係者の目線を合わせ、ブレずに活動が続けていくために、ロジックモデルを作成。その検証も行っている。



複数の団体と連携している、事業の活動が複雑、ということで、関係者の目線を合わせ、ブレずに活動が続けていくために、ロジックモデルを作成。その検証も行っている。

指標	測定値
配送世帯数（2019年8月時点）	579世帯↑（前年：419世帯）
延べ配送世帯数（2018年10月～2019年8月までの配送世帯数の合計）	3,978世帯↑（前年：1,716世帯） ※今期は夏休み配送により前期よりも配送回数も増加
配送手渡し率（平均）	55%↑（前年：54%）
配送食品の量（一世帯当たり、平均）	7.0kg ↓（前年：7.2kg）
配送食品の換算額（一世帯当たり、平均）	6,240円↑（前年：6,100円）
把握した困難な家庭の数*	45世帯↑（前年：40世帯）
食品等の寄付、体験の機会を提供している企業、団体、個人数 （2018年10月～2019年8月までの間）	30 ↓（前年：40）
提供した体験の機会の内容	スポーツ観戦、演奏会、ミュージアムチケット等
アンケート回収数（回収率）	第4回**：357（67%） ↓（前回：157/72%）